

# フォレストニュース

植林が地球を救う

平成27年(2015)1月10日

No. 85

発行 高津啓洋

## 謹賀新年・2015レダ初日の出

2015年の新しい朝が、レダの地にもあけました。パラグアイ川はゆっくりとししかし、確実に多くの水を下流へと運び、ぱんたな一るの大地を潤しています。昨年からの洪水の心配が続きますが、例年と違い、川の水が引く



時期に余り引いていませんので、水位が高いままで今年も2年前のような洪水が心配されます。

この時期は、ちょうど夏の季節

となります。レダは、雑草も激しく繁茂します。灼熱の太陽が照り付ける中、汗ダクダクで、伊達勝見さんと、ビクトル君がニームの森の下草刈りをしています。

また、アボガドが実をつけて秋の収穫を待っています。更に、年に3度の収穫がある、アセロラはビタミン豊富な栄養食品となっています。アセロラの多くの



40℃を超える中、下草刈りをするビクトル君



太陽の陽を浴びてアボガドが豊かに実をつけます

実が鳥たちのえさとなって、彼らの楽園のようです。しかしさすがの鳥たちもアセロラの実を全て食べることは難しく、レダで働く人たちに、新鮮なジュースとなって喉を潤してくれます。

## アキタバンが復活



3か月ほど修理のためドック入りしていたアキタバンが修理を終えて、塗装もきれいになりパラグアイ川を上ってきました。アキタバンはパラグアイ国北部の最大都市コンセプションとボリビア国境の近くの小さな町バイアネグラを結ぶパラグアイ川唯一の豪華貨客

船です。人とモノを運ぶ重要な船であるアキタバンは、緑の会が注文した小さな農機具から大きな自動車等も運ばれてきます。

スーパーマーケットでもあるこの船は、3か月間新鮮な野菜もなく果物も手に入らずに

来た地域の人々にとっては、お祭り騒ぎとなるほどで、買い物袋いっぱい食料品を仕入れていました。また、必要なものは注文をすればいつか持ってきてくれます。昔は、カピバラが何匹も、つるされて肉が売られたり、食堂のランチの肉にされたりとおおいしくいただけました。今は昔の光景です。



船内はさながらスーパーマーケット

## 2015年カレンダー配布中

カレンダー必要な方には実費にて配布中です。新規会員の方に無料で配布しますのでご利用ください。